

## 福島第一原子力発電所 土壤中のU分析結果

## 1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

採取場所 ( )は1,2号機スタックからの距離	採取日 分析機関	U-234	U-235	U-238
グラウンド(西北西約500m)	6月6日 日本分析 センター	8.0±0.41	0.38±0.072	8.8±0.44
産廃処分場近傍(南南西約500m)		5.9±0.36	0.29±0.070	5.7±0.35
天然ウラン比放射能(Bq/g)		$1.2 \times 10^4$	$5.7 \times 10^2$	$1.2 \times 10^4$
天然ウラン存在比(wt%)		0.0054	0.72	99.3

## 2. 評価

今回検出されたウランは以下により、天然に存在するものと同じレベルと評価する。

- ・自然界のウランは放射平衡(U-234とU-238の放射能濃度が同じ)になっているが、試料番号 すべてにおいてU-234とU-238の放射能濃度がほぼ同じであること
- ・試料番号 の天然のU-235の存在比  $U-235/U-238 = 0.0073$  とほぼ同じであること  
 試料番号 のU-235:  $4.7 \times 10^{-6} \text{g/kg} \cdot \text{乾土}$  (0.38Bq/kg・乾土)  
 試料番号 のU-238:  $7.1 \times 10^{-4} \text{g/kg} \cdot \text{乾土}$  (8.8Bq/kg・乾土)  
 $U-235/U-238 = 0.0067$   
 試料番号 のU-235:  $3.6 \times 10^{-6} \text{g/kg} \cdot \text{乾土}$  (0.29Bq/kg・乾土)  
 試料番号 のU-238:  $4.6 \times 10^{-4} \text{g/kg} \cdot \text{乾土}$  (5.7Bq/kg・乾土)  
 $U-235/U-238 = 0.0079$

端数処理の関係上、上記数値と計算が合わない場合がある。

以上